

ならないと考えています。

Q. 宗谷本線沿線の首長が協議していると思うが、そういった活動はどの程度進んでいるのか。

A. 宗谷本線活性化推進協議会（旭川市以北の関係自治体が所属する協議会）が大きく立ち上がるころまで進んでいます。

秘境駅について

Q. 列車に乗って秘境駅に訪れている人はいるのか。

A. 平成27年度はイベントを実施したこともあり、町内の秘境駅6駅すべてで約300人の利用がありました。

Q. 大々的に秘境駅を宣伝しているのだから、相応の負担をかけて秘境駅を残したほうが良いのではないか。

A. 貴重なご意見として受け止め、駅の存続及び廃止についての判断材料とさせていただきます。

福祉について

Q. 独居老人は、人との交流を楽しみに生きている。それに対して町はどのようなフォローアップをしているのか。

A. 町としては、独居に限らず支援が必要な方に対し、保健師が訪問して、様々なサービスに繋がっています。介護が必要な状態にまでないように、健康づくりやい

ろいろな催しに参加していただけるような声掛けも行っています。

Q. 要介護3以上でなければ福祉施設に入ることができない。要介護3未満（要介護1または2）の人が入所したい場合、どうすれば良いのか。

A. 要介護3以上でなければ入所できないということではなく、やむを得ない状況であると町長が判断した場合については、要介護3未満でも入所できます。

Q. 福祉施設の入所の順番を待っている間どうすれば良いのか。

A. こざくら荘のショートステイ等を利用しながら待機し、入所に切り替えていくこととなります。待機中のサービス利用については、保健センターや支援事業所などに相談して下さい。

農業振興について

Q. クラスタ事業の対象になりにくい環境になってきている。町が何か対策をしなければ時代遅れの地域になってしまうのではないか。

A. 搾乳頭数を維持するための補助事業を12月の議会にて提案をしようとして進めています。また、乳量と乳質の向上における施策を来春から進められるよう検討しています。なるべく早く基盤を確保して、乳量と乳質を回復させたいと考えて

います。

Q. 酪農家の高齢化が進んでいる。若い労働力を借りられる仕組みを検討していただきたい。

A. 海外の酪農を志した若者を受け入れる研修センターから、労働力を派遣してもらうことが可能だと聞いたことがあります。

移住促進住宅について

Q. 入居してから5年間の入居期間に加え3年間の延長。移住促進のために合計8年間も同じ住宅に居住させる、居住年数の根拠は。

A. 5年間定住していただいて、その間に自分の家を建てたり、新たな住居を見つけたらしてもらうことが基本です。3年間延長可能というのは、新たな居住先がない場合を想定しています。

Q. 町外からの移住者の職と家についてはどう考えているのか。

A. 職については、1次産業で雇用を生めるような企業を作らなければいけないと考えています。家については、家の建設（改修）費用の補助だけでなく、土地に関しても支援などができないか検討しています。

その他全般

Q. 重要なお知らせ事項などは告知端末機のみで放送するのではなく、回覧も回してほしい。告知端

末機のみだと見逃してしまう。

A. 町からのお知らせに関して、紙媒体を減らすために活用していますので、1日1回は告知端末機画面を確認して下さい。

Q. エネルギー関連施設見学会について、深地層や原子力に関連する施設だけでなく、他の施設なども見学させてもらえると、子ども達も喜ぶと思う。

A. 基本的には、国からの交付金により実施している事業であり、深地層と原子力の勉強を目的としていますので、なかなかお応えするのは難しいです。

Q. 道道整備について、昨年度も要望したが、道道稚内幌延線の正寺付近の歩道が構造上凹凸があり、乳母車が使えない。

A. 引き続き、北海道へ要請していきます。

